

# 自動運転AIチャレンジ2026 スポンサーのご案内

2026年2月

公益社団法人 自動車技術会



# 自動運転AIチャレンジについて

- 自動車技術会が主催する「自動運転AIチャレンジ」は、新技術領域の育成事業として2019年の初回開催以来発展を続け、2026年で8年目です。予選競技をオンラインのシミュレーターで、決勝競技を実車両走行で行う本大会は、ソフトウェア人材に対してモビリティを動かす楽しさを知ってもらう国内でも貴重な機会です。
- 最大の特色は、一般的なコンペティションの常識を覆す「知識と経験の積極的な共有」を奨励している点にあります。通常、競技では手の内を明かすことは不利になりますが、本大会では、参加者同士がオンライン・オンサイトの場で互いの知見や課題解決法を共有し合う「助け合いのコミュニティ」が強く根付いています。

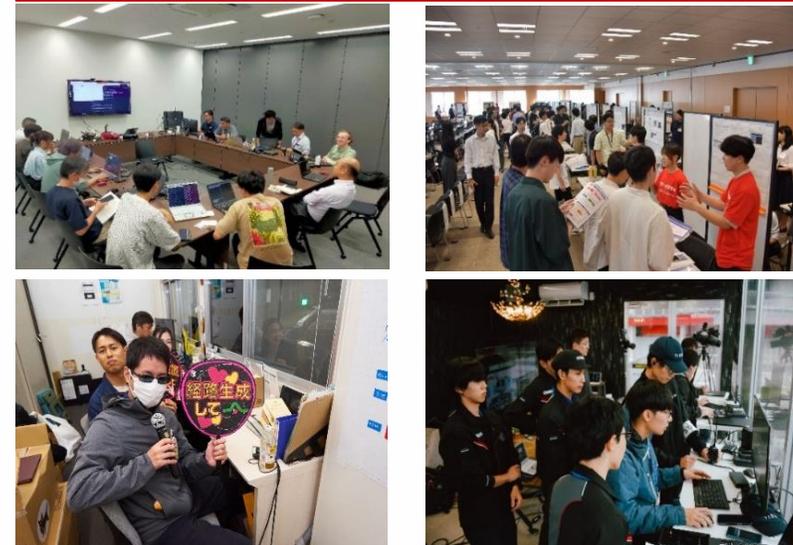
企業・学生の垣根を超えたこの開かれたコミュニティは、技術者にとって貴重な「学びの場」と同時に、「有機的な繋がり」を生み出す交流の場です。

過去大会の様子



シミュレーションと実車両を用いた競技

大会コミュニティ



参加者間の知識共有と交流が特徴！

# 自動運転AIチャレンジ2026 開催概要

## 【自動運転AIチャレンジ2026の開催重点方針】

1. 競技の充実 – 裾野拡大・最新技術の連携
2. スポンサーと競技参加者との接点拡大

大会名称		自動運転AIチャレンジ2026	
後援 (予定)		東京大学生産技術研究所、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 (UTmobI)、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本ディーラーニング協会、特定非営利活動法人ITS Japan	
予選	シミュレーション	日程	2026年7月1日(水)～9月1日(火)
		会場	オンライン
		参加者数	目標：700名 (250～300チーム)
		内容	Sim-to-Real SW部門：シミュレーションで構築した自動運転システムを実環境へ適用する自動運転競技部門 End-to-End AI部門：シミュレーターで学習した単一AIモデルのみで走行する自動運転AI競技部門 ※両部門への参加可能
決勝	シミュレーション	日程	9月19日(土)
		会場	東京国際交流館
		参加者数	合計40チーム程度
		内容	Sim-to-Real SW部門：4チームが運営用意のPCで同時にシミュレーション環境で走行し、タイムアタックにて順位を決める End-to-End AI部門：4チームが持ち込みPCで同時にシミュレーション環境で走行し、タイムアタックにて順位を決める (プレゼン必須)
	備考	予選の表彰、交流会も同日開催を検討。	
	実車両	日程	9月20日(日)
		会場	シティサーキット東京ベイ (CCTB)
参加チーム		Sim-to-Real SW部門のシミュレーション決勝の上位 16チーム(予定)	
決勝表彰式	日程	2026年 晩秋ころ	
	会場	都内会場を予定	
	企画	式・プレゼンテーションなど	

大会フローチャート  
イメージ



シミュレーション予選(オンライン)



シミュレーション決勝(オンサイト)



実車両競技

# 次世代エンジニアとの強固なネットワーク構築

- 競争と共創の技術革新

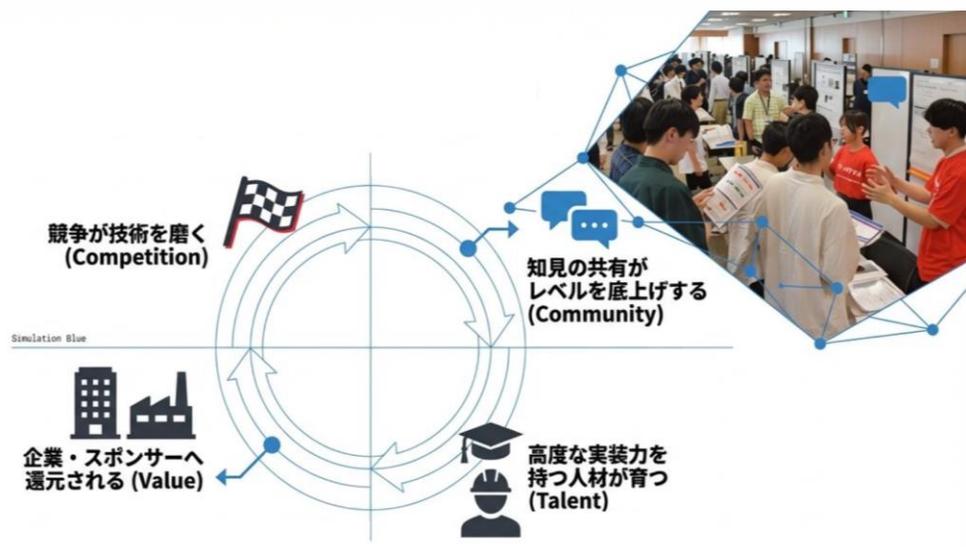
本プロジェクトが目指すのは、『競争』と『共創』による技術革新のエコシステムです。大会という『競争』が参加者の技術を鋭く磨く一方で、コミュニティでの活発な『知見の共有』が全体のレベルを大きく底上げします

- 継続的な参加者との接点マップ

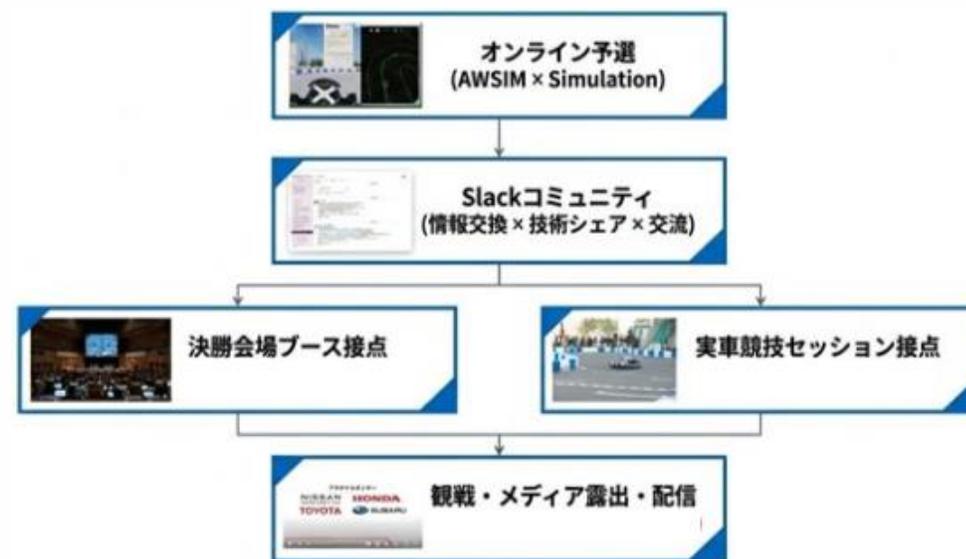
オンライン予選から決勝まで、コミュニティや実車競技を通じて多角的な接点を創出します。アーカイブ・ライブ配信も組み合わせ、大会期間中継続して高いPR効果と交流機会を提供します。

**競い合い、教え合う。Slackでの活発な知見共有が全体の技術レベルを押し上げ、即戦力となるエンジニアを絶え間なく生み出しています。**

## 競争と共創の技術革新



## 継続的な参加者との接点マップ



## 2026年度 スポンサーご支援金額（税込）

☆プラチナスponsor 220万円 ☆ゴールドスponsor 110万円 ☆シルバースponsor 55万円 ☆ブロンズスponsor 22万円

## 2026年度 スポンサー特典 ※赤字はオプション特典

#	項目	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
1	実車両決勝における企業PRブース設置	○			
2	決勝シミュレーション大会における企業PRブース設置	○	○		
3	同意を得た競技参加者情報の提供	○	○	-	-
4	配信ページへの企業ロゴ・URL掲載	○	○	○	-
5	決勝競技会場に企業ロゴバナー設置	特	大	中	-
6	大会専用SLACKに採用情報・インターン情報の掲載	○	○	○	-
7	大会公式webサイトに企業ロゴ・URL掲載	○	○	○	○
8	配信映像への企業ロゴ掲載	○	○	○	○
9	大会パンフレットへの企業ロゴ掲載	特	大	中	小
10	スポンサーボードへの企業ロゴ掲載	特	大	中	小
11	決勝シミュレーション・決勝表彰式への出席	○	○	○	○
12	予選競技採点ウェブサイト・AWSIMシミュレーターに企業ロゴ・URL掲載・スポンサーコメントの掲載（※）	○	(5.5万円)	(5.5万円)	(5.5万円)

※オプション特典のみの申し込みは不可



## (#1~2) スポンサーブース イメージ

### スポンサー特典 スポンサーブース#1

内容：一定のスペースが確保できる決勝競技会場において展示ブースを設置できる。



### スポンサー特典 スポンサーブース#2

内容：企業広報・人材交流に価値。多数の参加者が集う決勝シミュレーションの交流会会場において企業の映像・資料等を配布できるブースを設置する。



※写真は全て2025年度大会の様子で、画像はイメージです。

# (#4~5) シルバースポンサー以上のロゴ掲載イメージ

## 配信ページへのロゴ掲載

自動運転AIチャレンジ2025決勝ダイジェスト



自動運転AIチャレンジ2025決勝ダイジェスト動画を公開しています！  
ランオーダー、ライブ配信画面の見方はこちらから



## 決勝競技会場に企業ロゴ横断幕の設置



決勝競技期間に配信映像を掲載する大会HPトップサイトへのロゴ掲載  
参考：<https://www.jsae.or.jp/jaic/2025ver/>

## スポンサー特典（#6） 大会専用SLACKに採用情報・インターン情報等の掲載

過去大会参加者を含めて、900名以上が参加している大会専用SLACKのスポンサーチャンネルにて採用情報等を掲載可能です。  
SLACK内DM機能にて興味を持った参加者から個別に連絡をもらうこともでき、広報から関係づくりまでシームレスに行うことができます。  
投稿回数・頻度に制限なく、大会期間中は投稿が可能とする予定です。



学生も社会人も対等に議論

自動運転・AIに情熱を注ぐ人材が集結し、活発に交流するSlackにご参加いただけます。

# (#7~#10)ブロンズスポンサー以上のロゴ掲載イメージ

大会公式ウェブサイト及び会場内パンフレット 掲載例



配信映像への企業ロゴ掲載例



スポンサーボード ロゴ掲載例

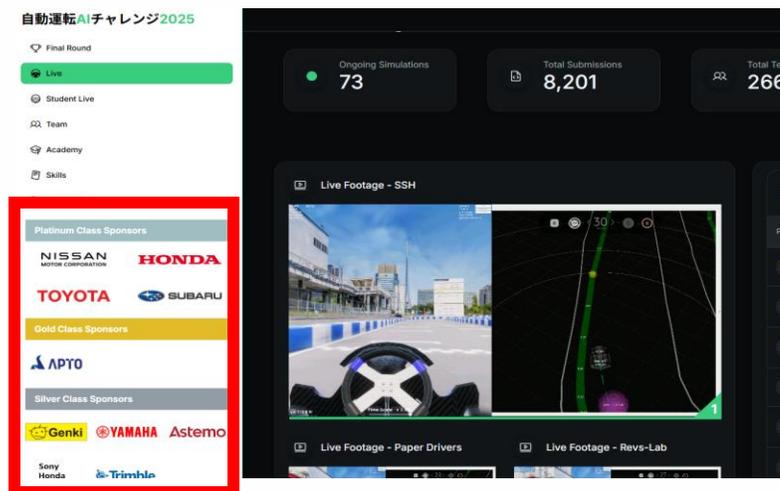


# スポンサーオプション特典

内容：大会期間中参加者が最もよく見るシミュレーション環境にロゴを掲載できる特典

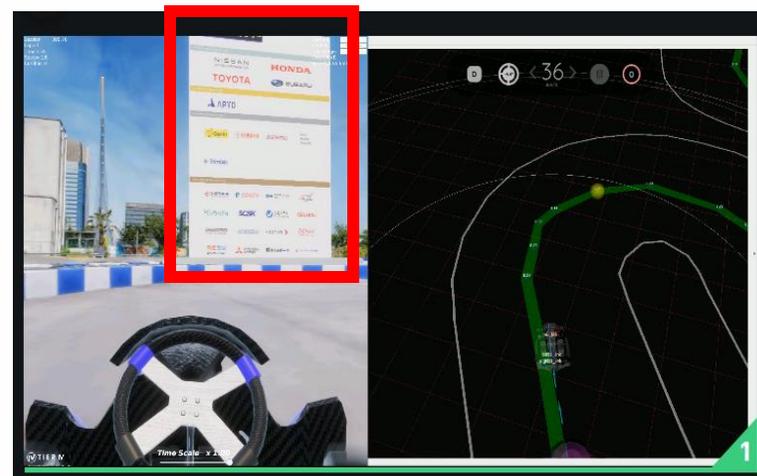
予選競技採点ウェブサイト・AWSIMシミュレーター内に企業ロゴ・URL掲載・スポンサーコメントの掲載

金額：1社 5.5万円(税込) ※プラチナはオプション特典を標準装備。追加料金なしで本特典をご利用いただけます。



参加される皆様のオンラインコミュニティは大変活発で、情報共有・課題解決が非常にスピーディです。学生・社会人を問わず個人でも参加しやすい環境で、交流を楽しみ頂くとともに、経験・スキルを是非磨いて頂きたいと思っております。

日産自動車株式会社



考える、感じる、ドライブするというのは、人と車のちょっとしたオマケでしかない。この大会は、単なるレーシングカートの自動化ではなく、みなさんの手で進めるモビリティ社会のアップデート作業です。この喜びを日本から世界へ。一緒に感動しましょう。

株式会社SUBARU

## 参考資料

-自動運転AIチャレンジの目指す人材育成の姿-

# 大会の意義と貢献

- これまでの自動運転AIチャレンジではこれからの自動車業界を牽引する技術者の発掘育成のため、以下の取組を実施しています。

## (1) 人材発掘

- 会場・競技素材変更による訴求力の向上による参加者数増加、満足度向上
- 自動車産業、ソフトウェア、各大学等からの参加が増え、裾野が拡大



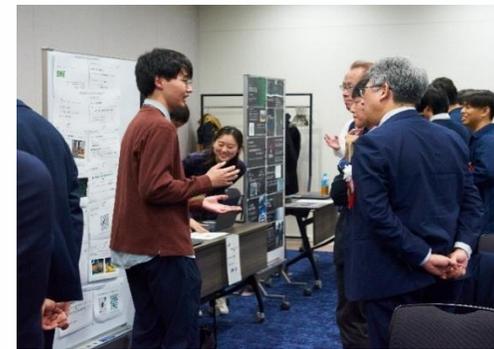
## (2) 人材育成

- シミュレーター導入から、実車両走行まで、各段階におけるサポート体制



## (3) 人材交流

- 交流会の充実による自動車産業との接点増加
- 参加者間の情報交換・交流の促進



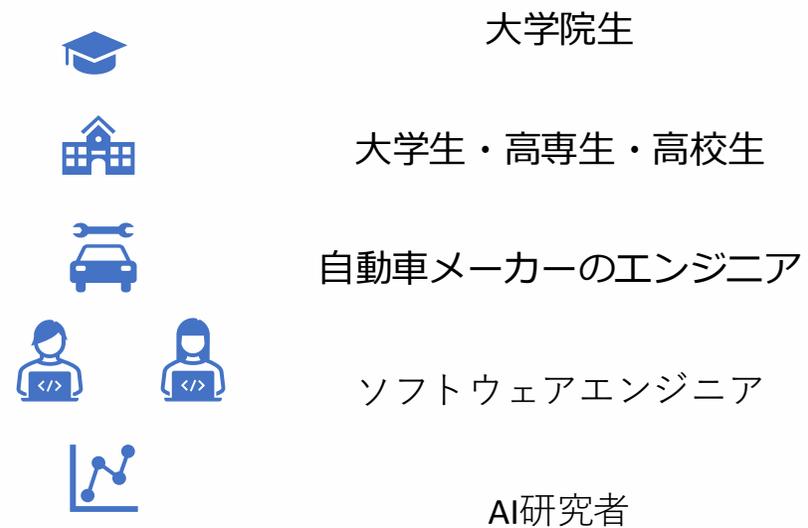
# (1) 人材発掘

- 会場・競技素材変更による訴求力の向上による参加者数増加及び満足度向上

大会毎の参加者推移

年度	名称	社会人	学生	合計
2019年	第1回	3	8	11
2020年	第2回	53	17	70
2021年	第3回	177	56	233
2022年	インテグレーション	308	100	408
2022年	シミュレーション	205	86	291
2023年	インテグレーション	188	66	254
2023年	ForRookie	42	142	184
2023年	シミュレーション	114	57	171
2024年	2024	237	154	397
<b>2025年</b>	<b>2025</b>	<b>355</b>	<b>229</b>	<b>584</b>

属性とリーチ



- 自動車産業、ソフトウェア、各大学等からの参加が増え、裾野が拡大

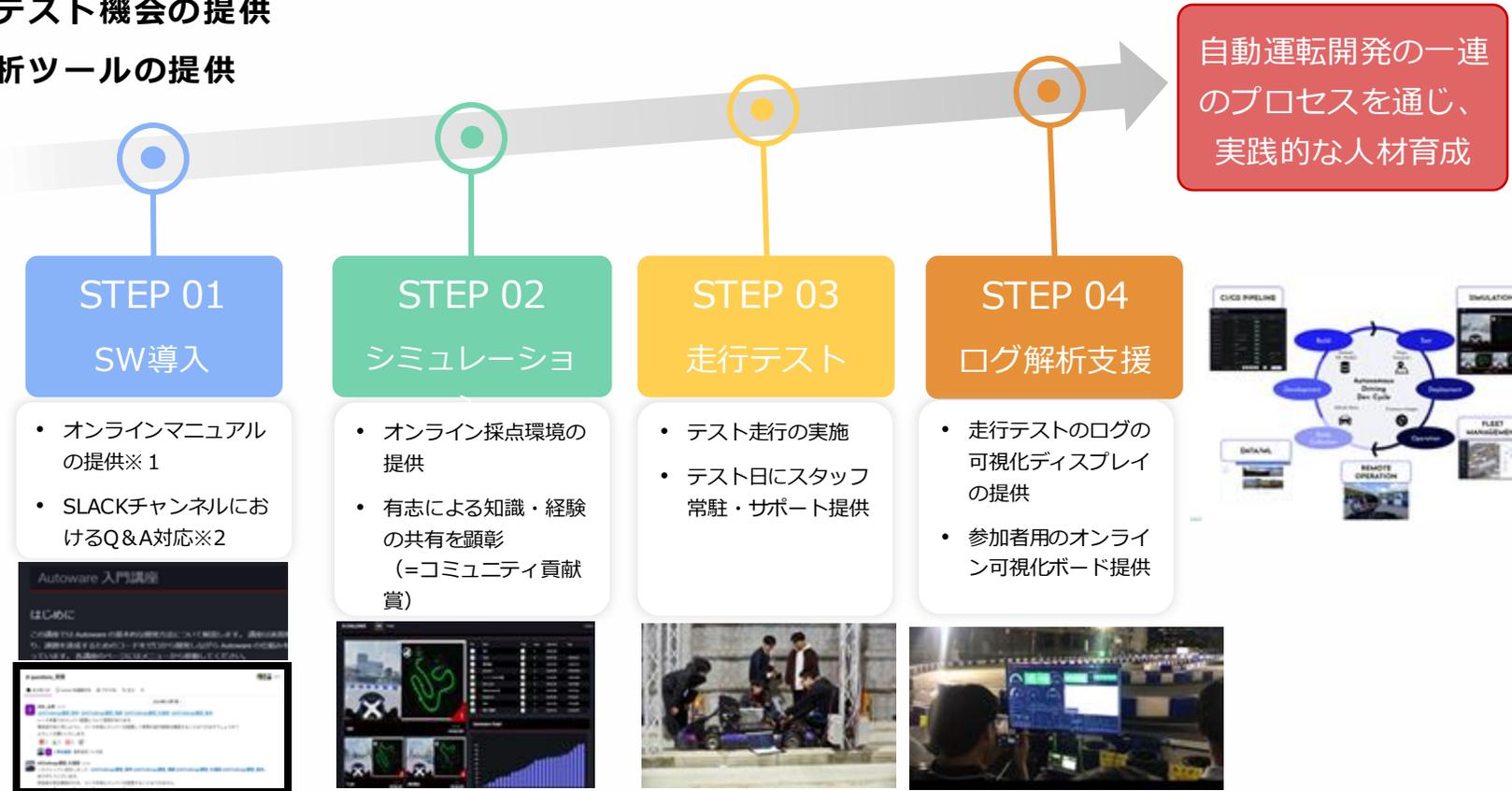
参加者所属大学(一部)：会津大学、大阪大学、岐阜大学、千葉工業大学、筑波大学、東京大学、同志社大学、東京理科大学、名古屋大学、明治大学、横浜市立大学、立命館大学、早稲田大学など

参加者所属会社(一部)：dSPACE Japan、トヨタ自動車、SUBARU、日立産業制御ソリューションズ、三菱電機ソフトウェア株式会社、ヤマハ発動機株式会社、その他フリーランス多数。

**自動運転・AI・ソフトウェアに特化した高度人材へのアクセスが可能です。**

## (2) 人材育成

- シミュレーター導入から、実車両走行まで、各段階における充実したサポート体制の提供
- 実車両テスト機会の提供
- 走行解析ツールの提供



※1<https://automotiveaichallenge.github.io/aichallenge-documentation-2024/course/index.html>

※2Q&A対応はその後の各フェーズでも常時実施している。

### (3) 人材交流

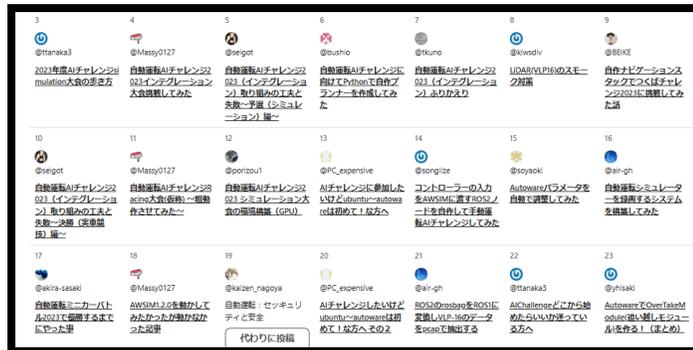
#### ● 交流会の充実による自動車産業との接点増加

表彰式でプレゼンテーションが行われ、チームが大会に臨んだ際の工夫点等を発表しました。その後、会場内の個別ブースにてスポンサー(自動車産業)からの質問を受け付けるQ&Aタイムを実施しました。また、式後に立食パーティーを開き、親睦を深めました。



#### ● 参加者間の情報交換・交流の促進

コミュニティ貢献賞を設置し、参加者が自身の経験を他参加者に共有することを推奨し、「車輪の再開発」を避け、大会全体のレベル向上と参加者間の交流を同時に達成しております。



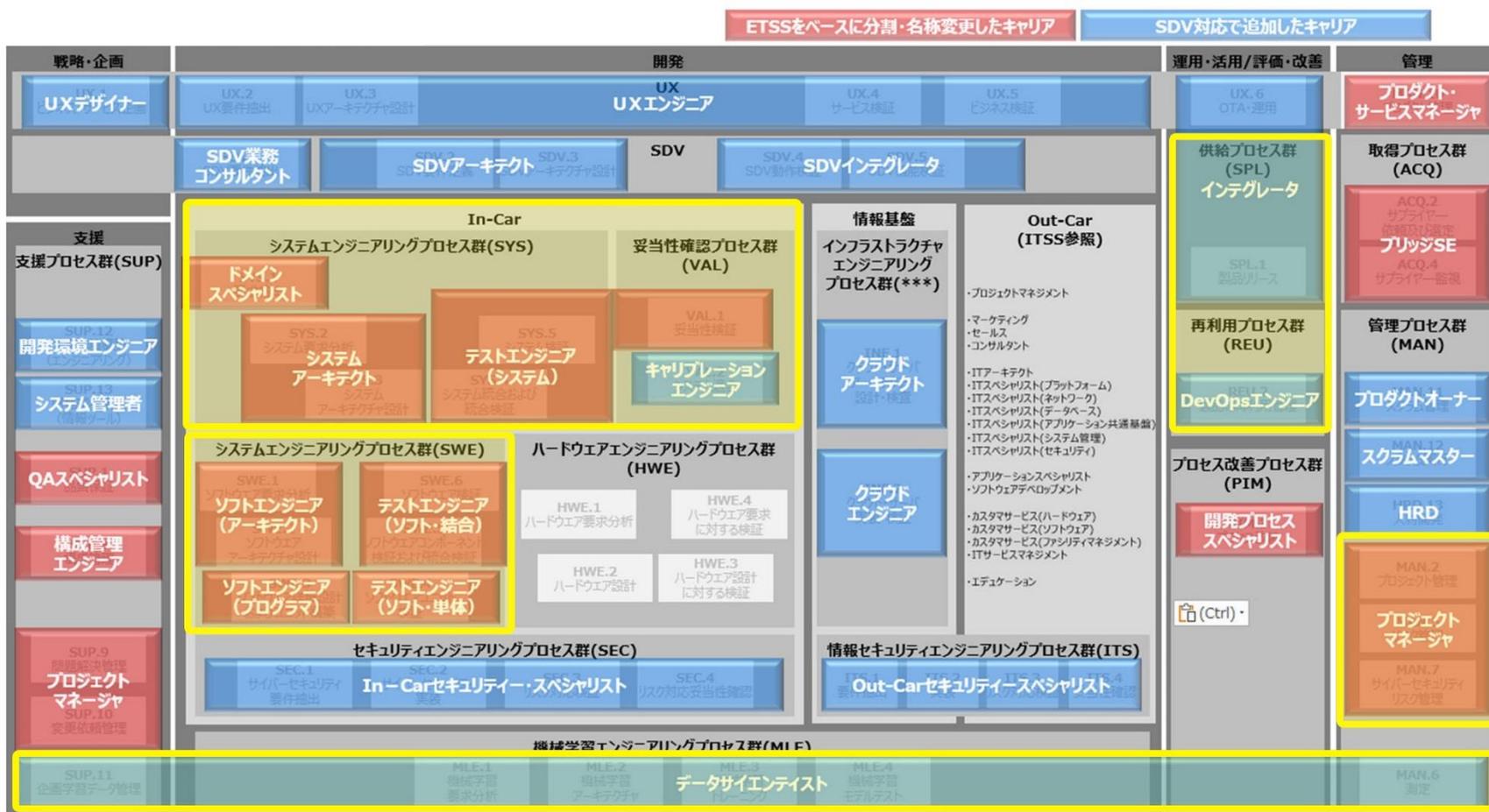
参加者作成の自動運転AIチャレンジ関連記事(一部)※1

※1 <https://qiita.com/advent-calendar/2023/jidounten-ai>  
※2 <https://challenge-club.connpass.com/event/330226/>



有志によるオンラインミーティング※2

経済産業省が主導するモビリティDX戦略に基づき、2024年度に自動車技術会が策定した『SDVスキル標準』に基づき、SDV時代において自動車業界が必要とする人材の育成を行っております。



(公社) 自動車技術会 自動運転AIチャレンジHPより  
<https://www.jsae.or.jp/jaaic/2025ver/about/>



皆さまの暖かいご支援お待ちしております

スポンサーの登録はこちら



お問い合わせ・ご相談はこちら

(公社)自動車技術会 モビリティDX推進課  
自動運転AIチャレンジ事務局

TEL : 03-3262-8214

MAIL : ai-challenge@jsae.or.jp